



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360

KYOJI HARA

C/O IIDA SHOKO-KAIKAN

TOKIYAMACHI, IIDA, NAGANO, JAPAN

№ 8 (JANUARY 15, 1974)

昭和 49 年 1 月 15 日

第360地区 各ロータリークラブ

国際ロータリー第360地区ガバナー

会長 並びに 幹事 殿

原 享 二

A Time for Action!

今こそ行動のとき

ウィリアム C. (Bill) カーター

年頭所感

明けまして

おめでとうございます

ガバナーの任期は1年間と心得ていたものの、
1 昨年10月の地区大会で、正式にガバナーノミ
ーの指名を受けてからは、何となく心忙しく、落
着かず、昨年1月中旬事務所を開設し、諸先輩の
御教示を受けているうちに、国際協議会、ついで
国際大会に参加、帰国後まもなく地区協議会、7
月より、いよいよ地区ガバナーとして公式訪問が
始まり、ハード・スケジュールの中に地区大会を
交えながらも、元気一杯病気一つせず、予定通り

に69クラブの訪問を全部終了し、気づいたら既に
師走の候となっている次第で、全くあっと思いう
に過ぎ去った一年余りでした。

“お前は医者だから医業に専念することこそロ
ータリアンらしい生き方だ、ガバナーを引き受け
るなど、ことの外……”といった手きびしい苦言
を受けたことも一再ならずもありましたが、多く
のロータリアンの善意と友情に接し、世間を広く
見ることが出来たことは、私にとって大切な人生

勉強で、終生忘れ得ない貴重な経験の種み重ねの
1年間でした。

昨年の社会情勢は、福祉元年といって、高度経済成長に一応の反省がなされ、経済的繁栄だけでなく平和な福祉社会の実現に、大きく踏み出した筈の年でしたが、実際には期待はずれで、インフレは悪化の一途をたどり、売り惜しみ、買いだめに明け暮れしているうちに、突如石油危機に見舞われ、日本国中が石油により回されてしまいました。本年は、物価高の不景気に見舞われることは必至のようです。

先日テレビ放送で、中近東諸国から帰国された三木副総理の言葉の中で、“産油国のアラビアは国土の98%が砂漠である。国土を豊かにし、工業化に意欲を燃しているのが現状で、何れの国でも彼等は“言葉は雲であり、行動は雨である”という諺を引用して、甘言はもう沢山だ、ただ実行あるのみ……”を聞き感銘を受けました。

年度の後半期を迎えるにあたり、もう一度ビル・カーター氏のターゲット“今こそ行動のとき”と、サブ・テーマの冒頭“生活の質の向上”について、再検討し、若し反省する所があったら勇気をもって行動に移して下さい。

以下4問を提供します。

1. 会員相互は真に親しみ合い助け合っておりますか？

特に新入会員に対し、ロータリーに同化するように努めているでしょうか？

「ロータリーを分かち与える」原則に従い、年初より半期間会員の純増は幾名になりましたか？

2. 個人としてクラブとして、地域社会が要求していることを頭と足を使って、探求しましたか？どんな実績を地域社会にのこしましたか？今後の予定は？

地域に、ロータリークラブの存在意義を、実証して下さい。

3. 今後の社会経済は、もっときびしいものになるでしょう。時代は変わってもポール・ハリスの思想は、不変です。今こそ、職業奉仕の真価を問われる時であることを銘記し、公正な取引を実際やっておりますか？

ロータリアンは社会から信用されている人であることを忘れてはなりません。

4. 日本人は誰でも、多かれ少なかれ島国根性をもっているものです。これからの時代は、国際性を身につけなければ、進展する社会から取残されてしまいます。

あなたや、クラブはロータリー則団や米山記念奨学会に、興味をお持ちですか？

どのように示しておりますか？

情報化時代に必須の知識として、居間でも何処でも目につく所に大きな世界地図を掲げて、ことあれば直ぐ指摘出来るよう習慣づけたいものです。

以上の設問に対して、クラブとして又個人としての回答意見を、2月末日迄にお寄せ下されば誠に幸甚に存じます。

1975～76 年度

ガバナー・ノミニー候補者

1975～76 年度ガバナー・ノミニー候補者として、次の方が指名委員会にて指名されました。



山 田 市 三 郎 君

生年月日 明治34年3月21日生
学 歴 大正14年東京大学英法科卒業
現 職 株式会社中京相互銀行取締役頭取
名港海運株式会社監査役
愛知食品製造株式会社取締役会長
職 歴 第一銀行
稲沢銀行副頭取
東海銀行取締役
名港海運株式会社取締役
公 職 中部経済連合会理事
中部生産性本部顧問
愛知県選挙管理委員
愛知県公安委員
名古屋家庭裁判所一宮支部参与員
全国相互銀行協会理事
東海相互銀行協会会長
名古屋市信用保証協会理事
愛知県信用保証協会理事
賞 罰 昭和36年黄綬褒章受章

昭和44年稲沢市功労賞受賞

昭和44年県産業功労賞受賞

昭和46年勲四等旭日小綬章受章

昭和47年紺綬褒章受章

ロータリー歴 昭和25年一宮 R C 入会

昭和33年一宮 R C 退会

昭和33年名古屋南 R C 入会

昭和38年～39年名古屋南 R C 会長

地区内各クラブは、他に 1975～76 年度のガバナー・ノミニー候補者として推薦される方があれば、来る 2 月 10 日までに、ガバナー宛に会長、幹事の署名した文書をもって申し出て下さい。

上記期日までに推薦ない場合は、R I 細則第 13 条第 5 節(4)項により、地区指名委員会推薦の山田市三郎君が、国際ロータリー第 360 地区 1975～76 年度ガバナー・ノミニーと決定宣言されます。

ポールハリスフェロー

このたび次の方々が、ポールハリスフェローとなられた旨、R I から通知をいただきました。心からお祝い申し上げるとともに、ご貢献を感謝いたします。

地区第83号 池 上 英 雄君(辰 野)

地区第84号 吉 原 達 雄君(辰 野)

地区第85号 鈴 木 順 二君(豊 橋 北)

地区第86号 浅 野 武 雄君(名古屋守山)

地区第87号 倉 内 実君(碧 南)

地区第88号 山 中 寛 三君(碧 南)

地区第89号 稲 垣 志 一君(豊 田)

(地区第82号 原 享二)

米山記念奨学会特別寄付

財団法人ロータリー米山記念奨学会塩原禎三事務局長より、次の通り書翰を受取りましたので、ご披露いたします。

~~~~~

下記の通り特別寄付を受領致しました。

よろしく御風声の程願ひ上げます。

### 記

名古屋北 R C

河 合 利 周 殿

¥ 300,000 (12月20日)

~~~~~

ご参考までに同会の寄付制度について申しますと、寄付には普通寄付と特別寄付とあり、普通寄付は会員1名当り年額1,000円を定額とし、増額は1口500円で、当地区は1,500円以上をお願いしております。

特別寄付は額を問いません。クラブとして、または個人として、普通寄付以外に寄付されるものがあります。

クラブとして 1,000,000円以上

個人として 300,000円以上

の特別寄付に対しては“米山功労者”の称号が贈られ、地区大会の折に表彰されます。何れも一時金、または累計額に対する表彰であり、今日までに次の通りクラブ3、個人16名の米山功労者が生まれております。

◇

東京江戸川 R C 2,660,000円

東京城東 R C 2,000,000

東京城西 R C 1,015,300円

坂田重保君(佐 世 保) 2,550,000

田中猛男君(東京江戸川) 400,000

瀬木博政君(東京小石川) 300,000

佐藤千寿君(東京 東) 300,000

以下略

松本工高 I C のもちつき奉仕



松本工業高校インターアクト・クラブでは、12月9日、児童養護施設松本児童園(43名収容)を訪問し、恒例の“もちつき”奉仕を行いました。I C 会員18名、松本南 R C 会員9名。

特別参加の米国交換高校生エリザベス・モントーヤさんも慣れない手つきで、きねを振り上げて、みんなを喜ばせました。

G S E チームメンバーに選ばれて

次に G S E チームメンバーの“動機と抱負”をご紹介します。尚紙面の都合上、他の三君のを割愛させていただきます。

その1 大 西 英 雄(名古屋 R C 推薦)

先ず最初に、私達勤労青年にこのような機会を与えて下さっている、世界のロータリアンの方々

に敬意を表します。

私は、会社からの推薦により、この計画に申請させていただくことができ、そして幸いにも研究グループ委員会の試験にもパスし、このすばらしい研究グループのメンバーに、選ばれることになりました。この喜びは、ひとしおでございます。

世界はひとつの言葉でございます。私は世界各国の多数の人々が、お互の国情を相互理解し、心からの協力を行えば、より平和な世界が開ける事と信じております。何よりも相互理解が重要であり、それを基盤として、平和への第一歩が始まるものと考えています。そんなわけで私自身、日頃から、世界各国を見聞することにより、世界をひとつとして見る事ができるようになりたいと願っておりました。そこへ今回のようなチャンスに恵まれ、大変心をおどらせています。

私の抱負は、大きくわけて二つでございます。その一つは、フロリダの人々の生活習慣を、肌で感じとることでございます。日本は現在、諸外国からは“エコノミックアニマル”などという悪評を受け、国民生活においては、道德の崩壊、善意の喪失など精神面での諸問題が起っています。私はフロリダの善意の人々の生活に接し、日本との異なる点を深く見つめることにより、現代日本のもつ問題に対し、根本的に原因を探り、私個人として何をなすべきかを知りたいと考えています。

次に私は、フロリダの食品会社を数多く見学したいと思っています。私自身、敷島製パン株式会社に勤務しており、今もっとも知りたい事は、より多くの消費者に喜ばれる新製品を生み出すための効果的な“研究開発システム”は、いかにある

べきかであります。またフロリダは、オレンジやグレープフルーツの大産地でもありますので、その食品への利用技術、特にパンやケーキへの利用についても知りたいと思っています。

以上であります。今度の留学では数多くのロータリアンの方々にお会いすることができると思います。ロータリークラブは、世界最大の奉仕団体ではなく、奉仕を志す人々の集りであると聞いております。このような方々に接することにより、ロータリー精神を少しでも身につけ、今回の留学を実り多いものにしたいと、心をもやしております。

その 2 伊 藤 彰 彦 (松本RC 推薦)

学窓を巣立って七年余、以来松本市役所という公的機関に奉職して、建築技術者として一応の職業的評価を受けられるまでに至った。

しかしながら、何か心満たされぬ思いが身を包む昨今であった。そんな時、目にとまったのが、国際ロータリー第360地区のG S Eチーム公募の報であった。書類、面接、二次に亘る選衡を運良く通過し、今心めぐるのは大国アメリカ、フロリダを中心とする四十余日の旅である。

ロータリークラブとは何か。“ロータリークラブ”折にふれ耳にした言葉である。しかしその集い、活動の根底理念は、今まで知ることもなく、また知ろうとする努力も払わなかった。此度、ロータリー財団の教育的活動であるG S Eグループの一員に選ばれ、私は数冊の冊子によりロータリーの理念に触れる機会を得た。しかし、それとて真の理解には遠く、身をもって会得したものでは

ない。今回、GSEチームの一員として国際ロータリー第695地区フロリダを訪問する事は、ロータリーの基本理念、職業奉仕及国際奉仕に身をもって触れ、惜みなき善意に触れる機会であり、そのことによりロータリーを身をもって理解することが出来よう。

今、私は多分の運に恵まれ、アメリカの国民及諸施設に触れ研究する機会を得た。この事は、建築士としての職業上からこの上ないチャンスである。世界一の工業大国米国での四十余日は、先進技術に触れる事が出来るのは無論、更に、これにより日本の建築を文字通り客観的に見直す事も出来るだろう。この事は前述の心満されぬもの — 多分職業上のものであろう — の実体をつかむ手段であり、それをして心の充足を得る事が出来るよう最善の努力を惜しむまい。

この機会を、目分自身の建築技術者としての飛躍成長の糧とし、得た知識を機会ある毎に、ロータリアン、一般の人々に発表したいと思う。そうすることはロータリーの基本理念にかなひ、又、私をGSEのチームメンバーとして送り出し迎え入れて下さった、国際ロータリー及び地区ロータリアン諸兄への最善の答礼であると思う。

事務総長 書翰の抜すい

(12月5日付)

1. 親愛なるロータリアン各位

“真”を求め、“美”にあこがれ、“善”に惹かれる人間の素質は、いつの時代にあっても絶えず、奉仕の冒険に乗り出すために、人並み以上の人間になることを鼓舞してきました。そして、古来より、そのような理想にめざめた人は多くあっても、広く組織的に実践する力に欠け、今日では、その人が書き残した言葉のみが、それらの人達が実在したことを物語っているに過ぎないのであります。けれども、今月、恒例の祭日休暇の季節を迎え、世界各地で人々が地上の平和を祈り、人類の善意の増進を願う心に満たされるときに当り、ロータリアンは、今世紀の初め、人類のための奉仕を鼓舞するインスピレーションが、数人の組織力のある人達の心をとらえ、その結果ロータリーの奉仕の理想が世界中に広まるに至ったことを感謝することができます。

ビル・カーター会長は、全ロータリアンに人間生活の質の向上をはかることを要請され、そして、「1970年代における国際ロータリーの課題は、われわれが研究して発見した真実をしっかりと把握し、創造力の衣を着せてこれを包み、そして環境問題であれ、商工業関係であれ、人間関係であれ、およそ不快の名のつく、あらゆる好ましからざる事柄に対して強力な攻撃を加え、人類同胞に

対するわれわれの関心を意味する、“心の愛の神聖さ”をもってこれらの真実を生活の美に転換させることである。」と述べておられます。

“真”、“善”、“美”、は生活に意義と価値をもたらす理想の本質であり、物質の世界において人間が高尚なものを見出すことができるのは理想があるからなのであります。

或るギリシャの哲学者は、“真実の流れは一つである”と書き残しています。同じことが世界中のロータリアンについても言えます。私達は、その国民性、文化、慣習がどのように多種多様であっても、奉仕の理想を意義あらしめるために努力していることにおいては、一つなのであります。だから、カーター会長は、「激動の過去70年間煉獄の火に精錬され、そして、われわれが最近行なった徹底的内省によって、驚くべき鮮明さをもって現れ出た真実を行動に移そう。そうすることによって、われわれは、正しい、平和を愛する社会の実現に僅かながら近づくことができるのだ。」と述べておられるのであります。

2. ロータリーの創立記念日を広報

ロータリーの創立第69周年を祝う、1974年2月23日がだんだん近づいてまいりました。地区ガバナーの皆様は、地区内の各クラブに、この創立記念日の報道記事、ラジオやテレビ放送用の短いアナウンスメント、その他の広報活動のアイデアをまとめた広報資料キットが用意されてい

ることを周知させ、各クラブでの記念業事を推進することができます。この広報資料キットは、無料で、米国イリノイ州エバンストンの中央事務局より、入手することができます。

3. ロータリー世界写真コンテストの広報

推進

ロータリアンが最も頻繁に受ける質問の一つは、“ロータリーは、具体的に一体、何をする団体ですか？”という質問です。ロータリーが何をしているのか簡単に説明する方法はありません。そのようなとき、“ロータリーの活動”をとった写真を用いるのが……一葉の写真は千語にも勝るといわれるように……最も効果的な方法の一つです。

そこで一番問題になる点は、ロータリー活動を良く写し取った写真を入手する、ということです。これを考慮に入れて理事会はロータリー世界写真コンテストを実施することにしたのであります。コンテスト期間も後半に入り、参加作品が中央事務局にて受理されつゝあるのであります。

国際ロータリー・ニュースの1月号には、このコンテストへの全クラブの参加を要請されたビル・カーター会長の手紙が添付されます。よって、皆様も、このカーター会長からの要請を支持して参加を奨励されるように、その奨励活動のころ合意を見計って下さい。

4. 1月20日～26日は雑誌週間です。

1911年に、ザ・ナショナル・ロータリアンとして創刊されたザ・ロータリアン誌は来る1月、63才になります。今や、そのスペイン語の姉妹版、レビスタ・ロータリア誌と合わせ、購読部数は、50万部に達します。ロータリー情報の源泉となり、貴重な広報機関の役を果している雑誌は、国際ロータリーと個々のロータリアンとの間の連絡機関として、その創刊以来活躍し続けているのです。来る1月20日～26日のロータリーの雑誌週間には、特別な配慮を受けるに値する雑誌です。英語とスペイン語を用いるクラブの会長宛に送付される国際ロータリー・ニュースの11月～12月号と一緒に配布された雑誌週刊用キット（その他のクラブへは申込に応じて送付）には、12のプログラムや広報のアイディアが記載されています。又、雑誌についての講演要旨、1973年中の記事より取材したクイズ・プログラム案も含まれています。その他、雑誌週間の記念行事に役立つ資料をザ・ロータリアン誌編集部よりお求めになることもできます。この特別週間に当って、貴地区内全クラブがロータリーの公式機関誌についての認識を深め、更に年度を通して雑誌を活用することを奨励して下さい。

5. 研究グループ交換の成果

ロータリー財団の研究グループ交換計画は、参

加者や関係者の間に国際理解を増進させております。しかしながら、その成果の幾つかは、当初は余り判らず、また普通の部類に属さないもののようです。

その良い例が、第358地区（日本）から、第567地区（米国カンサス州）へ研究グループチームが訪問したときの出来事です。1969年その研究グループがカンサス州、Hoxieに滞在中、チーム・メンバーの皆さんが草原に没する夕日の美しさに見とれていたのです。

その地方の人々にとって、日没は“いつも”の部類に属す事象であり、余り大した思いを寄せることもなく眺めていた訳であります。しかしながら、空気の汚染のひどいところから来た、日本からの訪問者にとって、澄みきった空にしずむ夕日は、非常に稀な景観だったのであります。その日本からの訪問者のお蔭で、このカンサス州の小さな町の人々は、そこの夕日がいかに美しいのかを知ることができたのであります。

6. 世界のロータリー

1973年11月27日現在、ロータリーは150の国及び地理的地域に15,844のロータリー・クラブと約743,500人のロータリアンを有します。1973年7月1日以降25カ国より100の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

第360地区 財団寄付金一覧表

(1973.11.30現在)

(単位=ドル)

クラブ名	歴 年 数	会 員 数 12/72	本年度 累 計 (USドル)	寄付額 累 計 (USドル)	順 位 %	次の順 位への 必要額	クラブ名	歴 年 数	会 員 数 12/72	本年度 累 計 (USドル)	寄付額 累 計 (USドル)	順 位 %	次の順 位への 必要額
あ ま	4	55	276.35	3,083.91	500	216.09	名古屋中	4	64	68.01	6,984.11	1,100	695.89
安 城	15	53		2,375.02	400	274.98	名古屋北	14	86	2,588.01	20,861.21	2,400	638.79
渥 美	4	33		708.24	200	281.76	名古屋南	16	107	1,245.04	15,195.83	1,400	854.17
尾 西	18	39		1,645.80	400	304.20	名古屋東南	4	69	102.01	3,866.76	500	273.24
富 士 見		25				250.00	名古屋和合	1	39	1,083.01	1,872.06	400	77.94
蒲 郡	19	64	94.01	2,902.50	400	297.50	名古屋西	20	130	752.62	8,792.55	600	307.45
半 田	22	66	210.01	2,730.56	400	569.44	中 野		26		320.03	100	199.97
碧 南	14	63	3,249.46	6,278.05	900	21.95	西 尾	13	50	1,030.00	4,829.32	900	170.68
東 浦	4	41	38.00	1,005.26	200	224.74	岡 谷	13	43	193.98	1,771.25	400	378.75
一 宮	24	78	81.01	4,078.21	500	601.79	岡 崎	22	68	1,493.91	16,974.54	2,400	25.46
一 宮 北	10	62	65.01	3,467.86	600	872.14	岡 崎 東		26	26.00	26.00		234.00
飯 田	17	65	40.00	2,757.92	400	492.08	岡 崎 南	9	58	256.01	4,051.02	600	8.98
飯 田 南	7	56	131.70	1,886.27	300	353.73	奥 三 河	3	31	101.82	1,269.62	400	280.38
飯 島	7	27		863.23	300	216.77	大 町	9	44	126.00	915.93	200	404.07
伊 那	13	59	552.06	1,785.02	300	574.98	尾 張 旭	2	33		859.72	300	460.28
稻 沢	10	42	855.82	3,421.37	800	358.63	名古屋港	7	84	445.59	13,561.87	1,600	718.13
犬 山	12	64	236.09	3,941.03	600	538.97	瀬 戸	14	59	1,098.01	5,120.21	800	189.79
一 色	11	39	40.00	1,374.58	400	575.42	新 城	6	35		925.55	200	124.45
刈 谷	19	55		2,521.16	600	1,328.84	諏 訪	16	52		1,587.94	300	492.06
軽 井 沢	9	32		2,813.28	900	386.72	田 原	12	49		3,006.01	600	423.99
春 日 井	4	71		2,120.25	400	1,429.75	高 浜	4	50		2,211.04	500	788.96
木 曾	4	39	1,059.01	2,288.14	500	51.86	辰 野	9	34		656.24	200	363.76
駒 ケ 根	13	59	706.04	3,911.36	600	218.64	戸倉上山田	7	28	58.01	722.04	200	117.96
小 牧	5	45	60.38	2,107.18	500	592.82	東 海	4	40	65.01	1,402.86	400	597.14
小 諸	10	46	1,188.81	5,356.57	1,100	163.43	常 滑	7	48	96.01	2,445.97	500	434.03
江 南	8	46	88.01	1,666.88	400	633.12	豊 橋	23	86	331.47	20,628.82	2,300	11.18
丸 子	10	30		578.73	200	321.27	豊 橋 北	16	82	185.01	6,792.20	800	587.80
松 川	5	31		465.13	100	154.87	豊 橋 南	7	47	1,554.90	6,320.27	1,300	259.73
松 本	17	74	70.01	3,094.77	400	605.23	豊 川	14	54	163.01	3,173.94	500	66.06
松 本 南	12	74		3,767.59	500	672.41	豊 田	13	72		6,369.11	800	110.89
松本西南	1	20	28.00	398.97	100	1.03	豊 田 西	3	49		500.01	100	479.99
長 野	11	63	66.01	2,144.27	300	375.73	津 島	20	65	74.01	3,416.60	500	483.40
長 野 東	7	59		2,357.99	400	592.01	上 田	14	53	117.01	3,750.83	700	489.17
名古屋	50	204	1,511.02	27,089.09	1,300	1,470.91							
名古屋東	14	77	94.01	5,571.15	700	588.85							
名古屋守山	9	67	77.01	5,183.98	800	846.02							
合 計									3,884	24,072.28	288,935.25		

12月出席率 (49年1月10日調)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前月順位	前月数	増減
1	松本	78	100	5	1	79	-1
1	駒田	62	100	5	1	62	
1	豊田	53	100	5	1	53	
1	軽井	32	100	5	1	32	
1	古屋	93	100	4	1	90	3
1	伊那	62	100	4	1	62	
1	大井	62	100	4	1	62	
1	西田	61	100	4	1	61	
1	飯田	59	100	4	1	56	3
1	安田	54	100	4	1	55	-1
1	一宮	64	100	4	28	64	
1	名古屋	47	100	4	1	45	2
1	辰屋	42	100	4	1	42	
14	名古屋	68	99.71	5	17	68	
15	豊橋	87	99.70	4	1	86	1
16	豊田	63	99.60	4	1	63	
17	豊田	56	99.09	4	30	55	1
18	田名	46	98.92	4	29	46	
19	名古屋	91	98.90	4	1	88	3
20	名古屋	69	98.84	5	27	69	
21	蒲尾	65	98.72	5	35	65	
22	尾張	38	98.69	4	31	38	
23	豊田	96	98.51	4	20	97	-1
24	飯田	67	98.51	4	24	66	1
25	名古屋	71	98.25	4	19	72	-1
26	常松	50	98.00	4	21	50	
27	松本	73	97.94	4	16	73	
28	江崎	48	97.92	4	34	48	
29	小島	48	97.82	4	23	45	3
30	東海	45	97.78	4	36	45	
31	岡崎	58	97.74	4	25	59	-1
32	岡崎	58	97.63	5	18	59	-1
33	飯島	30	97.50	4	47	30	
34	豊田	78	97.44	4	26	72	6
35	岡崎	74	97.03	4	22	75	-1
36	名古屋	77	97.01	5	32	76	1
37	稲垣	49	96.94	4	33	50	-1
38	長野	64	96.84	4	53	64	
39	春日	70	96.79	4	43	70	
40	長野	62	96.52	4	49	61	1
41	名古屋	132	96.34	4	45	134	-2

平均出席率 95.82%

42	刈谷	72	95.81	5	50	70	2
43	名古屋	106	95.81	4	42	108	-2
44	津島	65	95.56	4	37	65	
45	豊橋	49	95.55	5	40	50	-1
46	松本	33	95.46	4	56	33	
47	小宮	79	95.44	5	52	79	
48	一諸	49	95.26	4	39	50	-1
49	岡谷	42	95.24	4	44	42	
50	瀬戸	60	95.02	4	46	60	
51	半田	66	94.93	4	57	66	
52	一色	43	94.76	4	48	43	
53	上田	55	93.00	4	61	56	-1
54	高松	41	93.28	4	55	40	1
55	本西	32	92.97	4	51	32	
56	大井	60	92.64	4	62	54	6
57	岡崎	35	92.21	4	65	36	-1
58	奥三	33	92.11	5	41	32	1
59	東浦	41	91.70	5	38	41	
60	渥古	33	91.66	4	58	33	
61	名古屋	218	91.11	4	54	222	-4
62	諏訪	51	90.69	4	63	53	-2
63	中新	32	89.32	4	68	33	-1
64	木城	35	88.57	4	60	35	
65	尾曾	38	88.16	4	59	38	
66	丸西	40	86.25	4	66	40	
67	土見	34	82.39	4	67	34	
68	富山	26	81.41	4	69	28	-2
69	倉上山田	28	80.35	4	64	28	

会員数合計 4,098名 純増10名(累計99名)

認証状伝達式予告ご案内

富士見RCでは、下記の通り認証状伝達式を挙行されます。多数御出席下さるようお願い致します。

月 日 5月19日(日)

場 所 カゴメKK富士見工場

登録受付 12:00~13:30

記念式典 13:30~14:30

観 光 14:30~15:30

祝 宴 15:30~16:30

登 録 料 会員7,000円 家族5,000円

敬 弔

次の方々が御逝去になりました。謹しんでお悔み申し上げます。

杉山光雄君(名古屋) 12月6日

石黒英一君(名古屋) 12月29日

国際ロータリー第360地区ガバナー事務所

原 享 二

飯田市常盤町 飯田商工会館内

電話 0265(23)6262 〒395

地区幹事 後 藤 新 三

事務員 石 原 陽 子